

はじめてのかんきつ類 育て方

うえどき Bestは ▶ 3~4月
収穫は ▶ 10~12月
(種類によって異なるものもあります)

サカタのタネ

準備



※ゆずなどトゲが鋭い品種もあるので、作業には軍手などをして注意しましょう。かんきつ類は1本で実がつくので**おすすめ!!** 特に鉢植えで育てると、根のスペースが限られているため、植物が子孫を残そうとするため、地植えより早く、生育がよければ2~4年で実がつきはじめます。❖ 常緑樹で、一年中緑の葉がきれいなのでシンボルツリーとしても**おすすめ**です!

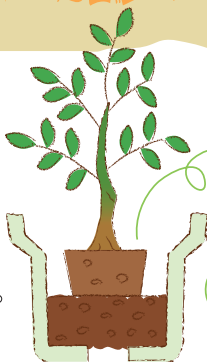
あると便利なもの



植え方

1

培養土を鉢の半分まで入れ、苗をポットから出して土の上に置きます。



2

支柱

接ぎ口で結ぶ

わりばし

わりばしでつつきながら

土と苗の間にすき間ができないようにわりばしでつつきながら、土を上まで入れます。

Point

かんきつ類は南向きの日当たりが大好きです

横浜近郊なら地植えでも十分育てられますが、鉢植えの方が雪の日などに軒下へ移動することもできます。

また、軒下で管理することにより、花の時期と梅雨が重なり、花が傷むのを防いで、実つきもよくなります。

3



たっぷりお水

植えたら、下から水が出るくらいたっぷり与えて、お日さまにしっかり当てます。水やりのタイミングは、土の表面が乾いて白っぽくなったから下から水が出るくらいたっぷり。

剪定

夏~秋

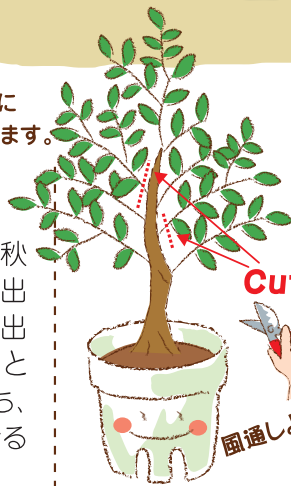
夏~秋に伸びてくる新芽



※かんきつ類は2年目の枝に花を咲かせる性質があります。

かんきつ類は春~秋まで次々と新芽が出てきます。夏~秋に出た新芽を手で摘むと春の新芽が良く育ち、翌年2年目の枝になるものが充実します。

3年目以降



Cut!

枝が混み合い、風通し・日当たりが悪くなってきたら、病虫害の予防のためにも間引きの剪定を季節問わず行いましょう。

肥料

肥料は鉢植えの場合年2回が目安です。お彼岸(3月下旬)とお盆(9月下旬)の頃に与えます。

なるべく鉢のふちに3ヶ所に分けて、埋め込むように与えると**Best!**

お彼岸に30g、お盆に15gぐらい与えます。手の大きさにもよりますが、軽くひと握りは20~30gになります。

Point

植えつけから2週間~1ヶ月の間

根が落ち着くまでは、肥料を与えないようにしましょう。



肥料を3ヶ所に分けて!

その他の Point

かんきつ類は、たくさん花を咲かせて実をつけさせてしまうと株の体力が追いつかず、収穫までにほとんどの実を自ら落としてしまったり、翌年の収穫が少なくなってしまう。毎年収穫できるように**摘果**を行いましょう! 目安は枝についている葉25~30枚に1個の単位で実をつけさせます。例えば枝先に小指の先くらい小さい実が5個ついていたら3個残し、赤ちゃんのこぶしくらいになったら、一番やさそうな実を1個残すようにします。

摘果した緑色の実...

レモンのようにしぼって料理のアクセントとしても利用できます

